

各課所で行われている、県民サービス向上や業務改善に向けた意欲的な取組をレポートします。

「農作物病害虫・雑草防除指針」のわかりやすさアップ

農業総合センター病害虫防除部

ここがポイント

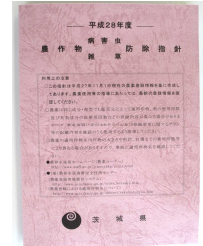
- 情報量が過剰で誤解釈のリスクがあった指針を抜本的にリニューアル
- 作成時の点検作業時間が31%減少するとともに、利用者のわかりやすさもアップ

「農作物病害虫・雑草防除指針」は、本県の主要な農作物における効果的な防除対策と安全で安定した生産を図るため、主要な病害虫・雑草約800種を対象とした農薬約2,800剤の使用方法等を掲載しており、普及指導員などが農家に農薬の選定等について指導する際に高頻度で使用するものです。

指針は毎年度作成していますが、情報量が過剰になっており、複数のページを参照しないと必要な情報が得られないなど、わかりにくく、誤解釈のリスクが高まっていました。

そこで、平成27年度に抜本的なリニューアルを行い、関係機関との協議を重ねながら、1薬剤に関する情報を1行にまとめて一覧性を高めたほか、誤記載のないよう農薬データベースの掲載内容を自動的に読み込めるようにするなどの工夫をしました。

その結果、職員においては、記載内容の点検作業時間が前年度比で31%（124時間）減少したほか、手入力部分を大幅に削減できました。また、利用者においては、一覧性が高まり参照しやすくなったほか、誤解釈につながるあいまいな表記がなくなり、好評をいただいているそうです。



(6)ブドウ(露地巨峰)
ブドウ(露地巨峰)
【注】散布以外の使用方法であるため、詳細は登録内容を参照する。
【注】農薬以外の使用法であるため、詳細は登録内容を参照する。

病害虫名	希釈倍数・使用量	使用時期	本剤の使用回数	有効成分名	有効成分の総使用回数	分類	注意事項
農とう病							
デランフロアブル	200倍	休眠期	1回	シチアジン	2回以内(但し、休眠期は1回以内)	M9	中毒性
バスポートフロアブル	1000倍	落弁期まで(但し、収穫5日前まで)	2回以内	TPN	2回以内	M5	中毒性
アリエクティン水和剤	250倍	休眠期	1回	キアアジン	2回以内	M4	中毒性
キンドーフロアブル	400~800倍	収穫45日前まで	2回以内	ボザル	2回以内	M3	中毒性
	600倍	4回以内(但し、開花後は1回)	有機銅	4回以内(但し、開花後は1回)		M1	中毒性

リニューアルした指針

職員による外出・通勤時の道路パトロール

竜ヶ崎工事事務所

ここがポイント

- 職員の外出・通勤時に道路パトロールの役割を担うことで破損を早期発見・補修
- 住民からの苦情件数が前年度比で約15%減少

竜ヶ崎工事事務所は、県道・国道を合わせて約450kmの道路を管理していますが、交通量の増加や道路の老朽化に伴い、近年、穴ぼこ等の破損が増加しています（平成26年度：1,800か所）。

事故の未然防止のためには、スピーディな情報収集と補修が必要ですが、担当者による通常のパトロールのみでは限界があるほか、住民からの通報から補修までのタイムラグも課題となっていました。

そこで、平成27年度に、「職員による外出時等道路パトロール実施要項」を作成し、新たな取組をはじめました。

公用車にアスファルト合材等の補修機材を積み込んでおき、職員が出張等の外出時に道路破損を発見し、作業が可能な場合は、応急対応を行うこととしました。

また、1人での出張中など安全な作業が困難な場合や、職員が通勤時に道路破損を発見した場合は、事務所に設けた一元的な窓口へ通報することとし、体制整備や協力の呼び掛けを行いました。

これにより、道路破損に関する住民からの苦情件数が前年度比で約15%（150件）減少したほか、事務所一丸となって道路の管理に取り組むことで、職員の意識が高まる効果も感じられるとのことでした。



公用車に補修道具を装備

行革分権室
から一言

ご紹介した取組は、平成27年度の目標チャレンジに表彰推薦されたものです。県行政の最前線において、県民・利用者へと直に接し、ニーズや課題を踏まえた出先機関ならではの取組です。